

製造業



製造業では、コスト削減、効率化、安全性向上、コンプライアンス遵守、製品革新など、さまざまな目標を達成するために、既存のインフラ内でデバイスやロボットを相互接続するモノのインターネット (IoT) の活用が進んでいます。

「賢明なメーカーは、最大の効率を達成するために新しいテクノロジーとロジスティクス方法を採用することで、競争上の優位性を生み出しています。最大の効率を達成する。工場活動にロボットを活用することで、今日の製造企業は時間を節約するだけでなく、労働力をより効率的で価値の高い作業に最適化することができます。労働力を最適化し、より効率的で価値の高い仕事をさせることができます。製造工程で既存のオペレーターを再教育することにより、労働力をより効果的で価値の高い作業に最適化することができます。15%)。今日のロボットは、これらの作業を効率的にこなすだけでなく、時間の経過とともに学習することができます。オートメーションは、ジャスト・イン・タイムとコスト管理が成功の鍵となる生産工程で、厳格なツールとして機能しなければいけません。」

「BALYOは、製造業の拡大するニーズに対応するため、ロボットとサービスの幅広いポートフォリオを開発しました。BALYOは、製造業におけるさまざまな製造工程における物品の搬送から、原材料や完成品の保管・回収に至るまで、BALYOのロボットは生産性を向上させ、製造業の発展に貢献します。BALYOのロボットは生産性を向上させ、新たな価値を創造します。」

業界の特性

- ・ 労働力の最適化
- ・ 多様なSKUの取り扱い
- ・ 新しい自動化手法の活用によるオペレーションコストの削減
- ・ 急速に変化する環境に対応する柔軟でカスタマイズ可能なソリューション
- ・ 労働力をより付加価値の高いタスクに再配置
- ・ 商品の安全性とトレーサビリティの向上

なぜ、ロボットなのか？

1

競争上の優位性 インダストリー4.0
のパイオニア

2

「生産性の向上
タスク主導での労働力を最適化」

3

より安全なオペレーション：オペレー
ターの安全を最重要視



製造業におけるBALYOの役割

«製造業における典型的なアプリケーションフローの例としては、以下のようなものがあります:

- BALYOのロボットスタッカーをラインスキャンに使用することで、ピッキングとドロップの位置を正確に分析・選択することができます。ピックアンドドロップポジション
- BALYOロボットスタッカーは、パレットをコンベアからラックや保管エリアへ搬送する際にも使用できます。
- さらに、BALYO VNAまたはリーチトラックは、狭い通路からパレットを保管し、取り出すために使用することができます。高さ11mまでの通路からパレットを保管・回収することができます。»

BALYOの特長

- ・生産/流通/保管アプリケーションのための完全なソリューション
- ・24時間365日の使用とシステムの安定稼働性
- ・運用の柔軟性
- ・適応ナビゲーション技術
- ・大きな負荷タイプも可能なロボットのラインアップ
- ・幅広いロボットポートフォリオ
- ・大手マテリアルハンドリングサプライヤーとのサービスネットワークパートナーシップ
- ・WMS/ERP接続
- ・顧客環境との連動
- ・生産性とスループットの向上»

BALYO 製造業 導入実績



導入台数



顧客



??